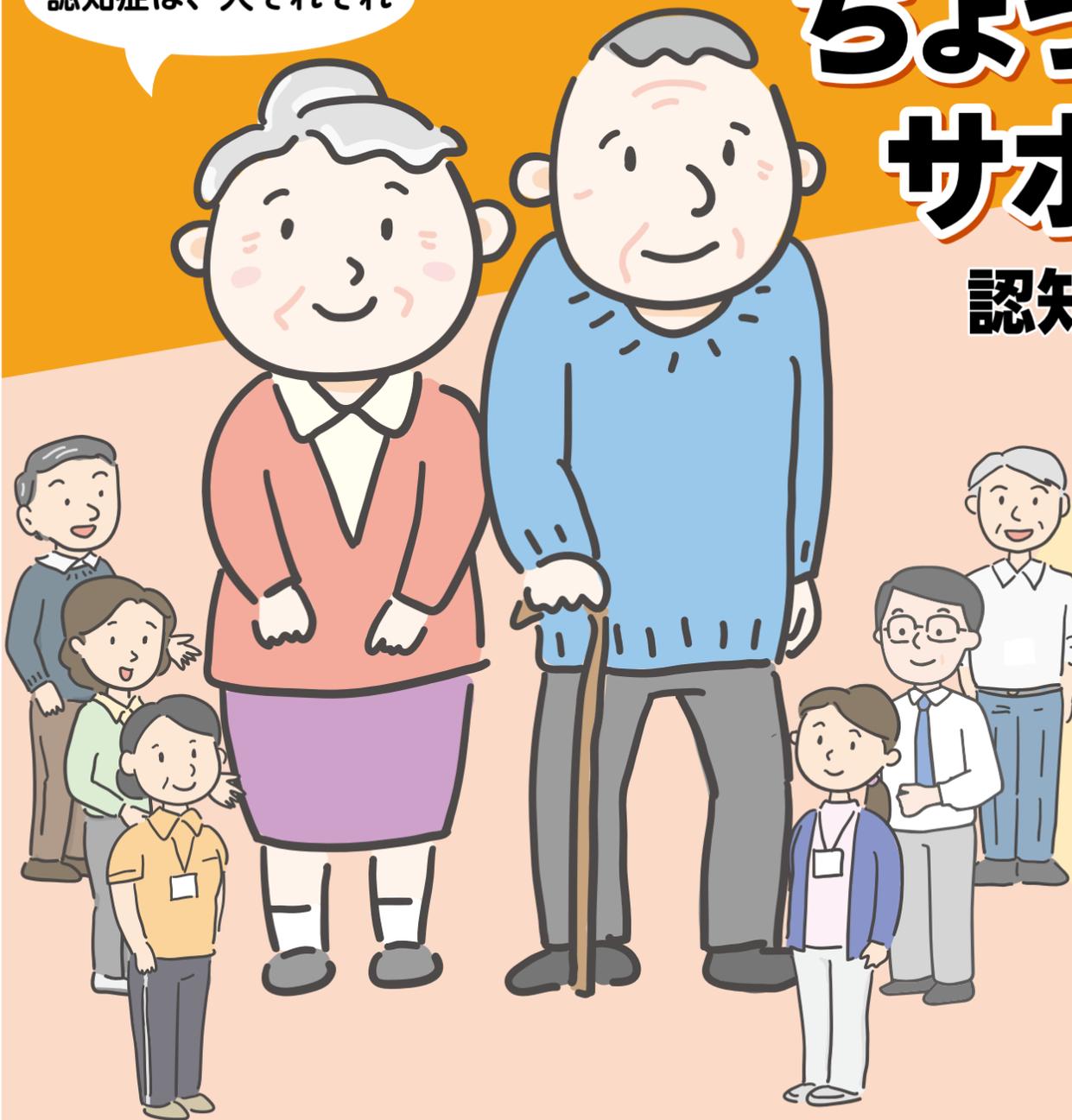


認知症になっても安心して生活できる地域へ

認知症は、人それぞれ

ちょっとしたサポートで、 認知症になっても 自分らしく！



たとえ認知症になっても、何もできなくなるわけではありません。困った時は、周りの人のちょっとしたサポートを受けながら、前向きに自分らしく生活している人がたくさんいます。認知症は、誰もがなりうる身近な病気です。長生きできればできるほど、あなたやあなたの家族が向き合うことになるでしょう。あなたも、認知症について考えてみませんか？

9月は世界アルツハイマー月間・9月21日は世界アルツハイマーデー

もっと知ろう もっと語ろう 認知症 パネル展を実施中！

9月21日

世界
アルツハイマー
デー



草加市高齢者応援サポーター
そうたくん



世界アルツハイマー月間・世界アルツハイマーデーは、国際アルツハイマー病協会（ADI）と世界保健機関（WHO）が、人々がアルツハイマー病について理解し、認知症の人やその家族に支援と希望をもたらすことを目的として定めました。世界中で、この日を中心に認知症への理解を呼びかける活動が広がっています。

また、草加市役所でも、認知症に関するパネル展示を実施中です！草加市の認知症に関連する取組の紹介パネルや、パンフレット・チラシ等を配置しています。是非お立ち寄りください。

『もっと知ろう もっと語ろう 認知症パネル展』
期間：令和5年9月1日（金曜日）から29日（金曜日）
場所：市役所本庁舎1階 市民課待合スペース奥